令和７年度

学 校 図 書 館 全 体 計 画

江戸川区立宇喜田小学校

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

学 校 教 育 目 標

学ぶ子
やさしい子
元気な子

多くの児童が本好きで、読書量も増加しているが、調べ学習等で学校図書館を利用する機会は少ない。

学 校 図 書 館 の 目 標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ね ら い

① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
② 学び方の指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指 導 の 重 点

① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各 学 年 の 重 点 目 標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・すすんで学校図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて学校図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物をすすんで読もうとする。 ・学校図書館に親しんで、すすんで利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具 体 的 な 取 り 組 み

〔 各 教 科 〕

○ 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
○ 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
○ 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔 読 書 科 〕

○ 読書における見方・考え方を働かせ読書を通じた探求的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育てる。
○ 読書科ノートを活用することで、問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ表現する力を育成する。
自らの考えをまとめてできたた作品は、「読書科コンクール」に応募する。

〔 総 合 的 な 学 習 の 時 間 〕

○ 学び方や考え方を身に付けさせる。
○ 課題の解決、探究に主体的に取り組ませる。
○ 系統的に情報活用能力を育成する。

〔 特 別 活 動 〕

○ 図書委員会を中心に、自発的・自治的に学校図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
【読書集会（おすすめの本の紹介）・読み聞かせ集会など】

〔 特 別 の 教 科　道 徳 〕

○ 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔 家 庭・地 域 と の 連 携 〕

○ 年3回の読書月間で、保護者による読み聞かせや親子読書等を推進する。
○ ボランティアや公立図書館と連携する。

朝 読 書 の 推 進　推進組織の確立・充実　図書館経営評価の実施　図書環境の整備・充実